

1. 手術室の具体的な目標と評価

1) 安全で質の高い手術看護を提供する

看護実践力とアセスメント能力の向上を目指し、勉強会の計画と術前後訪問の実施を中心に実践した。視覚教材作成にも取り組み1術式が完成した。使用結果で紙面の教材よりも効果的であった。次年度も引き続き視覚教材の作成に取り組んでいく。新人看護師に対するフレッシュパートナーの選定に MBTI 性格診断を用い、相性の視点でペアを選定した。結果、新人看護師の離職はゼロであった。今後もペア選定の際に活用していく。PFM 実施率は 100%であった。術前訪問実施率は 15.15%、術後訪問実施率は 1.5%であった。次年度は訪問を実施できるスタッフの早期育成を行い実施率向上に務める。クインスマネジメントの面では、「急変時・トラブル対応」ファイルを作成した。また、常備薬の一覧表を病棟薬剤師と協同しリスト化し、急変時には迅速に薬剤準備ができるようにした。

2) 病院経営に参画する

SPD と協力を得て今年度は死蔵品がゼロとなったが、SPD シールの紛失は紛失防止の対策を実施したが増加傾向となった。また、手術器械の紛失も増加した。次年度は対策やカウント方法の見直しを行い、スタッフが行動レベルに落とし込めるよう努力する。看護業務に対するタスクシフト/シェアに関してはアシスタント業務フローを見直し、手術室内の器材整理や 6S 活動を定期的に行うことができるようにした。また委託の中材業務に関し会議を定期的で開催した。次年度以降も委託業者と連携を図りながら看護師が手術に集中できる環境を整えていく。

3) 患者の視点に立った医療安全を推進する

インシデントの内、3b レベルのインシデントはガーゼの体内遺残の 1 件であった。発生後は再発防止のために事例検討会の開催とスタッフへのフィードバックを実施した。また、ロクロウム空アンプル誤廃棄が発生し、ダブルチェックの徹底を再周知した。皮膚神経症状に関するインシデントで 3a レベルは 2 件であった。年 2 回のスキンケア、MDRPU に関する勉強会を実施しスタッフへの意識付けに繋がった。特殊体位の多いダウインチ手術に関し、医師と連携して体位固定のシミュレーションの実施とマニュアルを作成し安全な体位固定ができるようになった。引き続き医師と協力し皮膚神経障害等防止に努めていく。看護師の針刺し事故は前期に 2 件発生した。血液暴露や針刺し事故防止に向け器材の取り扱いも含め定期的に OJT で安全管理の意識付けを行っていく。SSI 予防に関しては年度を通じて ICT リンクナースの活動により手指衛生剤の使用量が増加した。

4) 専門職としての能力開発に努める

新人看護師 6 名に対し、各フレッシュパートナーと共に手術室教育パスを用いて指導を実施し、毎月自己の目標と達成に向け取り組みの立案と達成状況を毎月評価し計画的に学習を進めた。手術室での看護実践が着実にステップアップできてきており、クリニカルリーダーも全員がレベル1に到達できた。指導者側の定期的なフレッシュパートナー会の開催ができなかった場合は個人間でコミュニケーションをとり、新人の進捗状況を共有した。4 年目までの若年層のスタッフに対しても毎月の目標及び達成に向けた取り組みの立案と評価を行い、育成を行った。院内外研修への参加は、クリニカルコーチ研修に 2 名、実習指導者講習会に 1 名参加できた。次年度もスタッフのキャリアアップに向けた支援を行っていく。

5) 活気ある職場作りの推進

緊急手術の状況が超過勤務増加の要因となることが多い。スタッフへの 36 協定の規定時間の説明を行い、今年度は 36 協定を逸脱することは無かった。看護師の業務内容を整理し、アシスタントや委託業者へタスクシフトすることで超過勤務削減になるようにも務めた。次年度以降も適正な業務量を保てるよう取り組んでいく。

2. 看護体制

表1 令和6年度看護体制

配置人数(人)	看護方式	夜勤体制
看護師 32名(本館31名・西棟1名) アシスタント1名 クラーク1名	固定チームナーシング	拘束勤務者 P3:3名 遅出勤務者 E3:2名

3. 手術統計

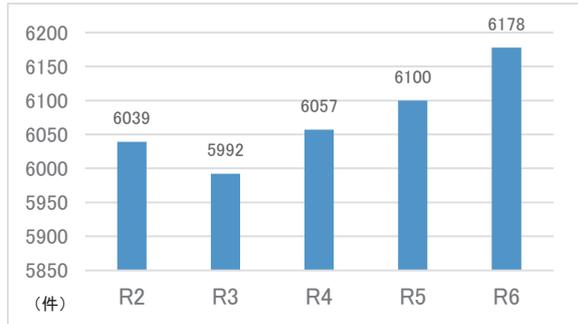


図1 手術件数の推移

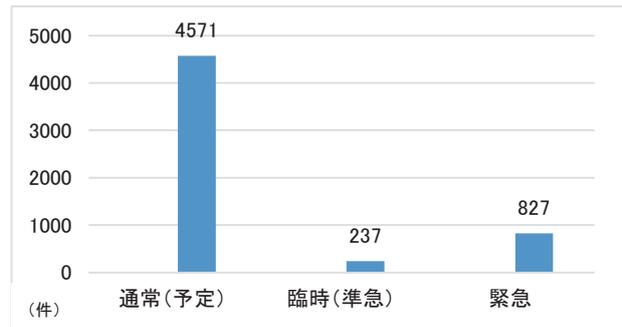


図2 令和6年度 申し込み区分別手術件数

表2 令和6年度 診療科別手術件数

	外科	心外	呼外	児外	整形	脳外	産婦	泌尿	眼科	耳鼻	皮膚	形成	麻酔	他
令4年	893	258	145	531	1733	69	222	575	814	312	205	263	10	27
令5年	873	180	139	525	1711	76	193	544	825	464	220	310	1	52
令6年	954	135	137	528	1578	84	179	596	845	467	268	325	12	70

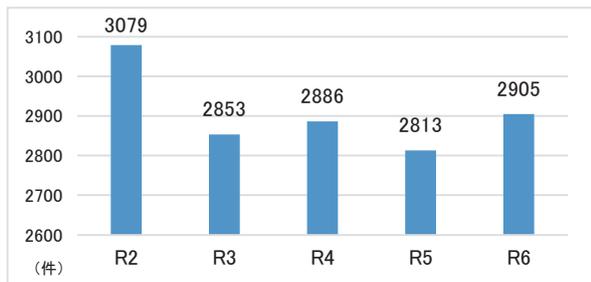


図3 令和6年度 麻酔科管理手術件数

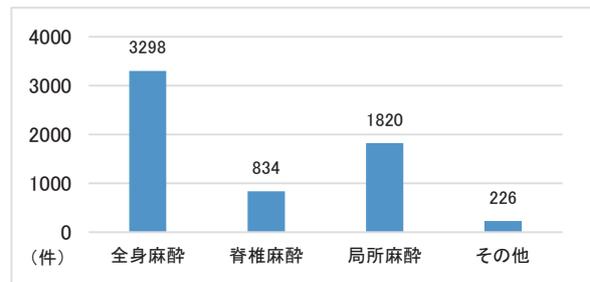


図4 令和6年度 実施手術麻酔区分

4. 看護研究・その他

1) 看護研究

2年研究 手術室看護師の器械出し場面におけるノンテクニカルスキルの傾向-安全で質の高い手術看護を提供するために- 三宅 彰、時長佐江子

2) 術前・術後訪問実施率

- ・術前訪問実施率 15.15%(PFMによる術前訪問実施率は100%)
- ・術後訪問実施率 2.2%